

第2次岐阜市GIGAスクール推進計画（R7～9年度）概要

1. 第1次計画（R4～6年度）の振り返り

各方針の取組の成果と課題まとめ

	成果	課題
① 誰一人取り残さない 個別最適・協働的な 学びの充実	多層の学校支援や教員間の学び合いの浸透などにより、子どもたち主体の学びが 全国的にも高いレベルで着実に浸透 している	・活用状況は、小学校では学年間で、中学校は教科間で 格差傾向 ・活用率が高い＝子どもが自ら求める探究的な学び（授業のOS改革）ができていない（ 質の課題 ）
② 教職員の働き方改革	全校での各施策の積極的な取組により、 子どもたちに向き合う時間の確保 や 時間外在校時間等の削減 が図られている	・各校のデジタル活用の取組具合により、学校間で 活用状況（成果）に差 がある
③ 児童生徒の健康面の配慮	全方位的な取組により、 全ての子どもたちの居場所の提供 が図られてきている	・これまでの対処療法的な観点の取組に加え、 全ての子どもたちを対象とした予防に観点を置いた取組 が課題
④ デジタル環境の最適化	ハード、ソフト共に 環境整備が着実に進んでいる	・引き続き、最適な環境整備の着実な実施
⑤ デジタル人材の育成	デジタル・シティズンシップ教育の浸透が 児童生徒、教員、保護者に拡がりつつある	・引き続き、児童生徒、教員、保護者へのデジタル・シティズンシップ教育の理解醸成

2. 今後の取組検討におけるポイント

NEXT GIGAで求められること

- ✓ 目指す姿
「岐阜市教育振興基本計画」に基づき、
「子どもたち一人ひとりが自らの可能性を伸ばし、希望あふれる未来を拓く力を育む」
- ✓ そのために、
各事業が**目指す姿の成果を最大化**するため、**全ての学校・教員が各取組のより一層の質の向上**を図る

今後の取組における検討ポイント

「岐阜市教育振興基本計画」に基づく
各取組(リアル)の目指す姿とは？
その中での**デジタルの役割**とは？

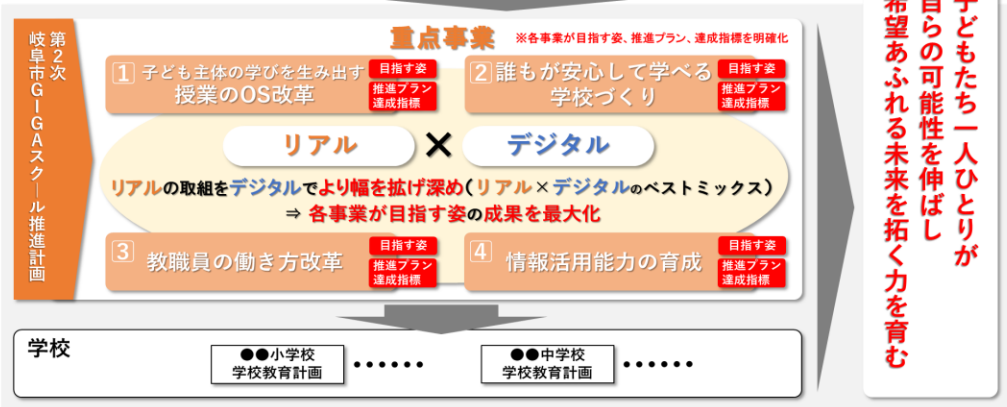
これまでの取組の評価を踏まえ
✓ 市教委として
✓ 学校として
今後のあるべき姿は？

様々な取組

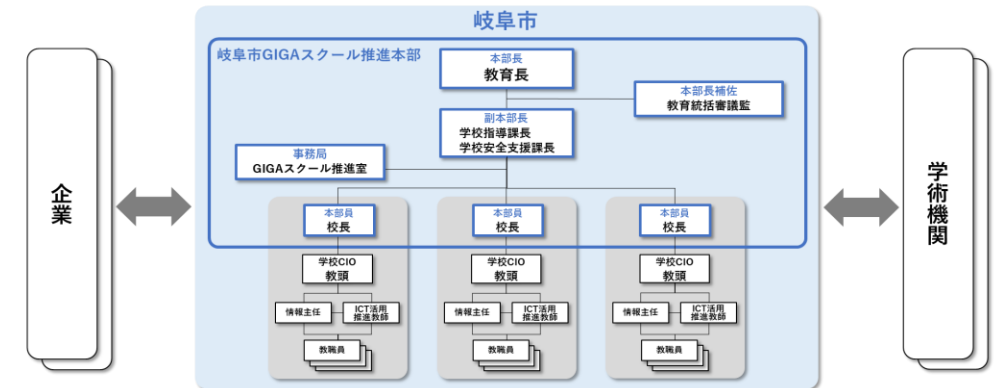
- 子どもたち主体の学び
(対象：児童生徒・教職員)
- 安心できる学校づくり
(対象：児童生徒・教職員)
- 働き方改革
(対象：教職員)
- 情報活用能力向上
(対象：児童生徒・教職員・保護者)

3. 第2次計画(R7～9年度)の方針

第4期岐阜市教育振興基本計画



4. 推進体制



- ✓ 教育長を長とし、市教委事業推進部門の下、**オール岐阜市学校**で推進
- ✓ 企業や学術機関と連携し、より有効な施策の推進

各事業の推進方策

- ①子ども主体の学びを生み出す授業のOS改革
- ②誰もが安心して学べる学校づくり
- ③教職員の働き方改革
- ④情報活用能力の育成

① 子ども主体の学びを生み出す授業のOS改革

指導観の改革

担当
学校指導課

岐阜市教育振興基本計画 基本目標

- ①一人ひとりのよさが輝き、互いに認め合う心を育む教育
- ②主体的かつ協働的な学びを通じて、未来への礎となる力を育てる教育
- ③その子らしさを生かし、可能性を伸ばす教育
- ④このまちと人から「生きる」を学び、社会参画する力を培う教育
- ⑥新しい時代の学びにつながる、教育システムの整備

目指す姿

- 【児童生徒】 ・ 単元や内容のまとまりにおいて、自己選択や自己調整を大切にした問題解決の学習過程をくり返すことで、見方・考え方を豊かにし、自ら求める探究的な学びを生み出す児童・生徒
- 【教職員】 ・ 児童・生徒が自ら求める探究的な学びを実現するために、単元や内容のまとまりで複線型を意識した授業を構想し、自分のペースで学べるための自己選択や自己調整を促し、児童生徒が自身の資質・能力の高まりを自覚できるような支援に徹する教職員

推進プラン

- ・ 新しい授業観、指導観で授業に臨み、変容した観の内容を校内又は市内で共有できるように、授業のOS改革に関わる研修講座を設定及び重点校（授業のOS改革推進校）を設置する。
- ・ 授業評価改善委員会（教科指導に長けた教員の集まり）において、複線型のアウトプット重視の授業の具体を明確にした指導計画（コンパスカリキュラム）や授業支援ソフトの教材を作成する。
- ・ ICTを活用した授業や教科横断的な学びの具体を検討できる新たな部会を位置付け、校外研修（市内教職員の研修会）で実践する。
- ・ 喜びと感動をもって探究し続けた子どもの姿や作品など、参加型で学校の取組を発信できるMIRAI'sポータルサイトを積極的に活用する。
- ・ 教育ダッシュボードや採点支援システムなどから得られるエビデンスに基づく授業改善や個に応じた指導を充実させる。
- ・ 生成AIなど、新たなサービスを活用した学びの更なる充実について検証を進め、情報伝達・共有、会議や研修などでコミュニケーションツールを効果的に活用する。
- ・ 以上について、必要に応じ専門的な知見を有する企業や学術機関と連携し効果的な推進を図る。

本事業の達成指標

- 【児童生徒】 ・ 選択した課題、過程、形態で追究・・・「あてはまる」
- ・ 単元の学びを見直し、よりよい学びを実現・・・「あてはまる」
- 【教職員】 ・ 「複線化」を意識した授業の実現・・・「実施している」
- ・ 自分の学習を俯瞰し、調整して学べる指導の工夫・・・「実施している」
- 80%

本事業が目指す姿の成果の最大化に資する デジタル達成指標

- 【児童生徒】 ● キーボードタイピング能力の向上・・・【小:40文字/分、中:60文字/分】
- ・ 授業支援ソフトを活用した他者参照・学びの俯瞰・・・「あてはまる」
- 【教職員】 ● 週3回以上iPadを活用して理解度に合わせた利用を指導・・・「あてはまる」
- ・ 授業支援ソフトを活用した他者参照・学びの俯瞰の指導・・・「実施している」
- ・ 学習データに基づく指導・授業改善・・・「あてはまる」
- 80%
- 文部科学省「教育DXに係る当面のKPI」

デジタル 活用施策・ツール

授業支援ソフト、学習支援ソフト、コミュニケーションツール、採点支援システム、生成AI【※】、教育ダッシュボード【※】、ぎふMIRAI'sポータルサイト【※】、iPadの更新【※】、キーボードタイピング【※】

□教育データを可視化・分析し、エビデンスに基づいた個別最適な学びなどを支援するシステム

【※】新たな取組

2 誰もが安心して学べる学校づくり

担当
学校安全支援課

岐阜市教育振興基本計画 基本目標

- ①一人ひとりのよさが輝き、互いに認め合う心を育む教育
- ②新しい時代の学びにつながる、教育システムの整備
- ③その子らしさを生かし、可能性を伸ばす教育

目指す姿	【児童生徒】・<u>生命の尊厳の理解</u>を前提として、「自由の相互承認」に対する理解を深めることで、自己肯定感を高めるとともに、<u>他者との信頼・協働関係を育み</u>ながら、自らの責任において行う<u>選択と行動</u>により<u>幸せに生きる力を身に付ける</u>児童・生徒 【教職員】・一人ひとりの子どもとより深く向き合い、<u>温かい対話と空間のある場所、学ぶ喜びに満ちた場所</u>を築く教職員 【保護者】・子どもの教育の当事者としての役割と責任を担い、多様な人の繋がりの中で<u>子どもの居場所、挑戦を促す場をつくる</u>保護者
------	---

推進プラン	・いじめの重大事態を風化させず、<u>いじめ問題の克服に向けて取り組み続ける</u>。 ・<u>子どもの健康サポートアプリ</u>や<u>教育ダッシュボード</u>の活用による<u>子どもたちの変化・SOSへの迅速な対応の日常化</u>を目指す。 ・<u>草潤サポートと連携し、オンラインフリースペースとリアル</u>の活動を行き来できるようにしていく。（個に応じて、校内フリースペースと連携する。） ・草潤サポート担当者、自立支援教室（エールぎふ）担当者、教育委員会不登校担当で、<u>連携会議</u>を行い、<u>不登校児童生徒の情報を共有</u>する。 ・<u>草潤メソッド「安心できる居場所」「信頼できる大人」「選択と行動」</u>を<u>オンラインフリースペース</u>や校内フリースペースの運営に生かす。 特に<u>オンラインフリースペース</u>においては「選択と行動」を意識した内容を充実させる。 ・<u>草潤メソッドを生かした学校風土</u>の指標を明らかにし、学校経営に活かせるようにする。 ・以上について、必要に応じ専門的な知見を有する<u>企業や学術機関と連携</u>し効果的な推進を図る。
-------	--

本事業の達成指標

【児童生徒】	・いじめは、 <u>どんな理由があってもいけない</u> ことだと思いますか・・・「当てはまる」	【100%】
	・先生や学校にいる大人に <u>いつでも相談できる</u> ・・・「当てはまる」	【80%】
	・ <u>お互いに協力しながら</u> 課題解決に取り組んでいる・・・「当てはまる」	【80%】
【教職員】	・可能な限り <u>多くの教職員で見取り、情報交換</u> をしている・・・「当てはまる」	【100%】
	・ここタン未入力者・ボタン発信時対応、安否確認・・・ <u>教師の対応</u>	【100%】
【保護者】	・ <u>子どもの居場所、挑戦を促す場をつくることを意識</u> している・・・「当てはまる」	【70%】

本事業が目指す姿の成果の最大化に資する デジタル達成指標

【児童生徒】	・ここタン利用の <u>定着</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・利用率	【 85%】
【教職員】	●希望する不登校児童生徒に対する <u>授業配信</u> ・・・・「できている」	} 100 %
	●特別な支援を要する児童生徒に対する <u>端末を活用した教育相談</u> ・・「できている」	
	●端末を活用した <u>学習活動等の支援</u> ・・・・・・・・「できている」	
	●外国人児童生徒に対する <u>端末を活用した支援</u> ・・・・「できている」	
●文部科学省「教育DXに係る当面のKPI」		

デジタル 活用施策・ツール	子どもの健康サポートアプリ、オンラインフリースペース、コミュニケーションツール、 教育ダッシュボード【※】、学校風土の向上【※】	【※】新たな取組
□学校の雰囲気について、児童生徒が無記名でアンケート調査に回答し、科学的により適宜に評価することで、いじめ、不登校などの予防や学力向上を目指す取り組み		

3 教職員の働き方改革

担当
学校指導課

岐阜市教育振興基本計画 基本目標

- ⑤子どもに深く向き合う、あたたかさと働きがいにあふれる学校・園づくり
- ⑥新しい時代の学びにつながる、教育システムの整備

目指す姿

- ・ 自らの働き方を見直し、心身ともに健康で働きがいをもてる教職員
- ・ 日々の生活の質や教職人生を豊かにし、自らの人間性や創造性を高められる教職員
- ・ 授業を磨くとともに、子どもたちと元気に笑顔でかわり、子どもたちに対して効果的な教育活動ができる教職員

推進プラン

- 「岐阜市 教職員サポートプラン」に基づき、職場環境と困り感ある職員をサポート
- ・ 現場のニーズに応じた研修の実施…学級経営・生徒指導・教科指導・デジタル活用・職員の人間関係づくり・組織マネジメント・ハラスメント防止など
 - ・ 多忙化解消に向けた取組の推進
 - ・ 人的配置によるサポート……スクールロイヤーの活用、ハートフルサポーター・ティーチャースクール、サポート・スタッフの充実の配置など
 - ・ 物的環境整備によるサポート……働きがいに繋げる教育DXの推進
 - 新校務パソコンの効果的な活用とロケーションフリーの環境や次世代校務システムを活用したワークスタイルの変革
 - ・ コミュニケーションツールや授業支援ソフトを活用した教職員の良好なコミュニケーション
 - ・ 学校と保護者間の連絡アプリや採点支援システムを徹底活用した事務負担軽減
 - ・ 生成AIの活用（業務の効率化、教職員の創造性を高める活用方法について検証）
 - ・ 事業や取組等の見直しによるサポート…ストレスチェックの実施、夏季休業期間における学校閉庁日の設定、各校・教育委員会における実践の共有と改善など
 - ・ 以上について、必要に応じ専門的な知見を有する企業や学術機関と連携し効果的な推進を図る。

本事業の達成指標

- ・ 組織や自身の働き方……………「改善している」
 - ・ ワークライフバランス……………「充実している」
 - ・ 教材研究に向き合う時間……………「確保できている」
 - ・ 子どもたちに向き合う時間……………「確保できている」
- 80%

本事業が目指す姿の成果の最大化に資する デジタル達成指標

- 必要に応じ効果的なロケーションフリーでの校務処理……………「行っている」
 - ・ 校内の連絡・会議等のデジタル活用による校務の効率化……………「できている」
 - ・ 保護者間連絡のデジタル活用による校務の効率化……………「できている」
 - ・ 採点事務のデジタル活用による校務の効率化（中学校）……………「できている」
- 100%
- 文部科学省「教育DXに係る当面のKPI」

デジタル 活用施策・ツール

学校と保護者間連絡アプリ、採点支援ソフト、コミュニケーションツール、授業支援ソフト、出退勤管理システム、
生成AI【※】、**次世代校務システム【※】**、☐児童生徒情報、教職員情報、出欠席管理、成績管理、健康管理など校務に係る事務を管理するシステム
ロケーションフリー【※】☐ICT環境のフルクラウド化により、校内のみならず外出先や自宅などどこでも校務パソコンで校務ができる環境

【※】新たな取組

4 情報活用能力[※]の育成

※デジタル・シティズンシップ教育と情報保護以外の内容は、
各関係事業①～③側に記載

担当
学校指導課
学校安全支援課

岐阜市教育振興基本計画 基本目標

②主体的かつ協働的な学びを通じて、未来への礎となる力を育てる教育

⑦子どもも大人も共に学び支え合う、家庭・地域の教育力の向上

⑥新しい時代の学びにつながる、教育システムの整備

目指す姿

- 【教職員】 ・ 児童生徒がデジタルの善き使い手となるよう、主体的にデジタル・シティズンシップ教育（以下、DC教育）の意識を醸成する。
・ 教育現場のあらゆる情報について適切に情報を保護（収集データの取扱い、個人情報保護など）する意識を高め、規定に沿って適正に取扱う。
- 【児童生徒】 ・ DC教育の考えを理解し、行動に移すとともに、仲間や家族と情報共有して、よりよいデジタル活用をする。
・ DC教育に基づき、SNSの適切な活用や情報保護（個人情報保護、著作権など）について理解し、状況に応じて適正に取扱う。
・ 発達段階に応じた基本的な情報活用スキルを身に付ける。
- 【保護者】 ・ DC教育の考えを理解し、子どものデジタル機器のよりよい使い方について、子どもの実態に応じて家庭で話し合う。

推進プラン

- ・ 経年研修及び職務研修、教育課程研究協議会等において、DC教育と共に情報保護に関することの研修内容の充実
- ・ 全教育活動（GIGAびらき（小学1年生へのタブレット端末貸与式）やデジタルを利用した子ども同士のトラブルなど含む）を通したDC教育の意識を醸成する授業展開の推進
- ・ 学年の発達段階に応じたDC教育の内容の検討とDC教育の教材作成
- ・ 著作権、肖像権等の情報保護について、教頭を中心とした教員の校内研修の資料作成及び校内研修の実施
- ・ 保護者に対して、懇談会やGIGAびらき等様々な機会を通じDC教育の理解と啓発
- ・ 以上について、必要に応じ専門的な知見を有する企業や学術機関と連携し効果的な推進を図る。

本事業の達成指標

- 【教職員】 ・ 適切な情報保護を意識し、適正な取扱い・・・・・・・・・・「取扱っている」（100%）
・ デジタル機器のよりよい使い方（健康面含む）の指導や支援・・・・・・・・「充実している」
- 【児童生徒】 ・ デジタル機器を利用する際のよりよい使い方（健康面含む）・・・・・・・・「考えている」
・ SNSの適切な活用や情報保護の正しい理解と適正な取扱い（高学年）・・「できている」
- 【保護者】 ・ ICT機器のよりよい使い方についての話し合い（年間1回以上）・・・・「できている」
- 95 %

本事業が目指す姿の成果の最大化に資する デジタル達成指標

- 【教職員】 ・ 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力・・・・・・・・「できている」
・ DC教育を意識したGIGAびらきや全教育活動での指導・・・・・・・・「できている」
・ セキュリティ研修の実施と岐阜市のセキュリティポリシーの理解・・「できている」
- 【児童生徒】 ・ 日頃からDC教育を意識したデジタル機器の取扱い・・・・・・・・「できている」
- 100 %

デジタル 活用施策・ツール

デジタル・シティズンシップ教育、SNS活用、
□デジタル社会における「善き社会の担い手」を目指し、若者が効果的なデジタル・シティズンになるために必要な能力を身に付けることを目的とした教育 参考：欧州評議会による『デジタル・シティズンシップ教育研修資料』より

情報保護(収集データの取扱い、個人情報保護、セキュリティ対策、著作権・肖像権保護) 【※】

【※】新たな取組